令和８年１１月１９日

教 職 員
各位
大学院生

医学獣医学総合研究科長

大学院特別セミナーの開催について（通知）

標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますのでご出席ください。
なお、大学院生については、当日出欠の確認をしますのでご承知おきください。

記

日　　時　：　令和９年１月７日（木）１７時００分～

場　　所　：　宮崎大学医学部講義実習棟３階　３０３教室

講　　師　：　中村ふくみ（東京都立墨東病院感染症内科・責任部長）

演　　題　：「第一線の市中病院における感染症対応について」

講演内容　：COVID-19 パンデミック以降、市中病院における感染症対応のあり方が変化している。東京都立墨東病院は 第 1 種・2 種感染症指定医療機関に指定され、 COVID-19 パンデミック時は流行初期から診療を開始し、軽症から重症患者の多くを受け入れ治療してきた。その間、患者の治療に注力しつつ、複数の臨床研究に対応することは、研究のサポート体制の脆弱さがありマンパワーと時間の確保が困難であった。 エボラ出血熱の診療・感染管理では、隔離して蔓延を防ぐのみならず、重症化した患者の集中治療が求められ、また患者の治療経過やデータは研究面での発信が求められるのが必然である。すなわち、 市中病院であっても 診療と臨床研究の両輪を回すことが求められている。 本セミナーでは、第一線の市中病院でどのように臨床研究を進めていくのが望ましいかについて考えてみたい。